令和８年度版

南小学校地震等災害時対応マニュアル

地震が起こった場合の対応

場面・場所		対応	
		児　童	保護者・家庭
登校前（自宅）	震度５強以上	□学校から連絡があるまで登校しない。	□学校から連絡があるまで登校させない。 ＊登校は学校からの連絡を受けてからとしてください。
	震度５弱以下	□お家の人の了解のもと、安全に気をつけて登校する。	□通学路の安全を確認後、登校させる。
登下校中（通学路） 震度５強以上の場合 （東日本大震災のような強い地震） ＊震度５弱以下の場合は、安全に十分留意の上、通常通りの登下校とする。		□安全確保 〇頭部を保護する。 〇建物、塀、窓ガラス等から離れる。車道には出ない。 〇揺れが収まるまでその場を動かない。 〇けがをした場合は、近くの人に助けを求める。 □移動・避難 〇揺れが収まったら学校か自宅の近い方に向かう。 ＊移動困難な場合は教職員、または保護者、地域の人が来るまで待つ。	□安否確認 〇登下校中のお子さんの安全確認をする。 □保護、連絡 〇通学路でお子さんを保護した場合は自宅へ戻る。 ＊保護した場合は、学校に連絡を入れてください。 □引取 〇既に登校した場合やまだ下校していない場合等、通学路でお子さんを保護できなかった場合には、学校まで引き取りに向かう。
在校時（学校）	震度５強以上	□避難・待機 〇避難指示により校庭に安全に避難する。保護者の迎えを待つ。 □下校 〇保護者と一緒に下校する。	□引取 〇次項の引取要領に従い、自主的に来校しお子さんを引き取る。
	震度５弱以下	□避難・待機 〇指示に従い安全に行動する。 □集団下校または授業再開 ＊授業を再開するかどうかは被害状況等を見て判断する。	＊授業を打ち切り集団下校する場合は、緊急メール等で連絡します。 □保護 〇帰宅後の安全に配慮する。

＊表の震度は、目安としてお考えください。状況に応じた対応が必要となります。

＊ご家庭でも普段から決まった通学路で登下校することをご指導ください。

災害時の引き渡しについて（引取要領）

1　引取や迎えが必要と想定される非常災害

（１）地震…校舎施設や通学路の被害により危険が予想される場合
　　※震度５強以上（東日本大震災のような強い地震）
（２）火災…校舎施設の火災、近隣火災等により危険が予想される場合
（３）台風（大雨・暴風）…激しい暴風雨のため危険が予想される場合
（４）その他、児童のみでの下校が困難と判断される状況の場合

2　児童が在校中の引取について

大きな災害時には、電話やメールが不通となり学校からの連絡ができなくなる場合もありますので、状況に応じて自主的に来校いただき、お子さんの引取をお願いします。

・担任が確認のうえ、避難場所で引き渡しいたします。引き取るお子さんの名前と続柄を告げてください。引取の際は、必ず担任と確認を取ってください。
・引取に来る方は、保護者または保護者に依頼された親族等の方とします。
・駐車による混乱が予想されますので、可能な限り徒歩でご来校ください。どうしても車を使用せざるを得ない場合は、体育館前と校庭の一部を利用して、一方通行の通り抜け形式になりますので、教職員の指示に従って校門からの乗り入れとなります。また、事故や渋滞を避けるため、進入、退出とも左折のみでお願いします。
・引取に来るまでは、お子さんは学校待機とします。

3　登下校中の迎えについて

通学路を確認しながら迎えに来てください。登下校の途中でお子さんを保護した場合は、自宅に戻り、学校へその旨連絡してください。

非常災害時の学校と家庭の連絡方法

1　緊急メール配信を基本とします。
2　電話やメール等が不通の場合、必要に応じて校門前の掲示板に連絡事項を紙面で張り出します。

校外学習等の対応

校外学習中に地震等大きな災害が発生した場合は、現地引率者と安否確認等の連絡を取りながら対応します。状況について、新しい情報が分かり次第、緊急メールにてお伝えします。

台風や暴風雨の場合

〇登校前
　臨時休校する場合は、朝 6:30 までに緊急メールでお知らせします。
〇在校中
　授業を打ち切り、集団下校や引取をお願いする場合は、緊急メール等でお知らせします。
〇下校
　通学路の安全を確認しながら迎えをお願いします。

学校からの急ぎの連絡はメールでお知らせします。緊急メール(まなびポケット)は日頃からご確認くださいますようお願いいたします。